

令和8年1月（睦月）

宇波公民館だより

令和8年1月1日発行
氷見市宇波公民館
氷見市宇波401番地
Tel(0766)78-1503

謹んで新年のお喜びを申し上げます

皆様には、日頃から公民館活動にご支援ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年は一昨年の元旦に発生した能登半島地震の復旧・復興に向けての各種の取り組みが進められてきたところであります。

当地区でも被災した宇波忠霊塔の復旧を記念するとともに、これまで公民館前で行ってきた産直市「ねまれ市」等と併せ「うなみんフェスティバル」が11月に盛況に開催されたところです。

また、昨年は各地で熊による被害や火災が多発しましたが、本年は災害のない良い年になりますよう祈念申し上げます。

本年も、よろしくお願いいたします

令和八年正月 宇波公民館長 大石 久義



1月の公民館講座

瓢箪細工 農林水産大臣賞受賞

当宇波公民館で活動されている氷見瓢箪同好会の古伏協政之さんが、全日本愛瓢会が主催する第50回記念総会展示会で農林水産大臣賞を受賞されました。

全日本愛瓢会会報の受賞の喜びによると、氏は瓢箪に螺鈿を張れないかと螺鈿細工を初めて20数年になり、今回の特別賞を受賞して喜びもひとしおのことです。

当公民館2階床の間に飾ってありますので、ぜひご覧になってください。



講座名	実施日
茶道	25日(日)
生花	26日(月)
100歳体操	1月・2月お休み
ぱわーきっず	1月お休み
瓢箪同好会	19日(月)
手芸	編み物 17日(土) クラフト 24日(土)
ダンス教室	毎週火曜日午後7時から

今月の外出支援バス

- ① 1月9日(金)
- ② 1月23日(金)

なだうら食堂は、1月・2月
とお休みです。



松村謙三遺墨集 発行

「松村謙三遺墨集(第3集)」が、昨年10月29日に南砺市教育委員会と松村謙三記念館から発行されました。

この中に、旧宇波小学校体育館に掲げられていた松村謙三揮毫による「克学克遊」が載せられています。これは、宇波小学校の廃校により当公民館に保管されているものを、同記念館が今年度に富山県内の学校や公共施設等を対象に作品の所蔵調査を実施したことによるものです。

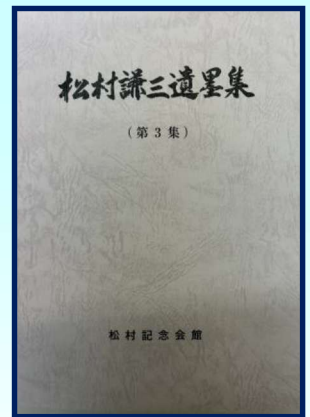
語句の意味は「克く学び克く遊べ」で、遺墨集によると富山市の芝園小



学校や東部中

学校などでも同じ語句の遺墨が残されており、松村謙三が好きな語句だったことが伺えます。

当公民館へお出かけの際には、ぜひご観覧になってください。



「氷見郡志」から見る明治期の宇波

「氷見郡志」は、明治42年9月に大正天皇（當時は皇太子）の富山県行啓を記念して、氷見郡長が氷見郡に関する旧記伝説等を収録・編纂したものです。

明治41年10月から10カ月を掛けて編纂委員と書記17名により編纂され、編纂委員の中に宇波の荻野庸三氏（第8代宇波村長）が名を連ねています。

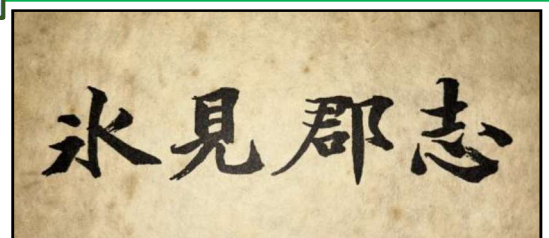
本書は、口絵と本文、統計からなり、統計は郡内の町村役場から提出された資料によるとされており、その統計資料の幾つかを紹介します。

①戸数・人口では、明治41年の宇波村は484戸・2,724人で、氷見町、久目村、女良村、上庄村、熊無村に次いで6番目です。窪村は、なんと438戸・2,456人で9番目です。

②耕作地は全部で約357町ですが、そのうち田が177町・米の収穫高は3,874石、これは郡内12番目です。このうち小作耕作地が全体の84%と多く、八代村、稻積村に次いで郡内で3番目に多いです。

③漁獲高は氷見郡全体で473千円、宇波村はこの22%余りの105千円で、氷見町の224千円に次いで2番目です。

歴史資料を見ると、時代の変化を感じますね。



「氷見郡志」の題字

項目 町村名	人 口			
	戸数	順	人口	順
氷見町	2,383	1	12,983	1
久目村	536	2	3,098	2
女良村	533	3	2,985	3
上庄村	498	4	2,825	4
熊無村	494	5	2,738	5
宇波村	484	6	2,724	6
十二町村	458	7	2,504	7
速川村	436	10	2,461	8
窪村	438	9	2,456	9
碁石村	446	8	2,369	10
(中略)				
布施村	230	19	1,284	19
余川村	224	20	1,261	20
稻積村	203	21	1,071	21
合 計	6,909		38,214	

開館日時：毎週 月・火・木・金曜日の午前9時から午後5時まで

(休館日 毎週水・土・日曜日) 12月29日～1月3日も正月休館です。

※ なお、休館日でも事前にご連絡いただければ開館しますので、お気軽にご相談ください。

☎(ファックス)78-1503 宇波公民館(荻野直樹)